

神奈川県身体障害者連合会会報

# 身障かながわ

発行 財団法人 神奈川県身体障害者連合会  
 会長 戸井田 愛子  
 〒221-0844  
 横浜市神奈川区沢渡4-2  
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会  
 編集委員長 小出 庄作

印刷 内村印刷株式会社

- 地域団体の紹介 (南足柄市、大井町) .....②
- 地域団体の紹介 (山北町、相模原市) .....③
- 第5回神奈川県障害者スポーツ大会終わる.....④
- 第56回日本身体障害者福祉大会「とやま大会」.....④
- さんぽみち (開成町) .....⑤
- みんなの広場 (相模原市) .....⑤
- 俳句・川柳・短歌.....⑥
- 県身連事業予定 (7月～10月) .....⑥
- 編集室から.....⑥

## 平成二十二年事業報告 歳入歳出決算承認される

県身連の平成二十二年事業報告と歳入歳出決算が、五月の評議員会・理事会において、原案どおり全会一致で承認されました。

平成二十二年度の各事業の実施にあたっては、各地域団体との緊密な連携を図るとともに、県・市町村など関係機関の協力を得ながら着実な執行に努め、当初の活動方針どおりの効果をあげることができました。

「障害者自立支援法」を廃止し、「新たな総合的福祉法制」を実現すべく「障がい者制度改革推進本部」のもと、当事者が参画した「障がい者制度改革推進会議」が設置され、障害者基本法の改正のための第二次意見が取りまとめられました。その動向を見つめながら、障害者の実態や要求を「新たな総合的福祉法制」に反映させるべく、日身連と連携して「障がい者制度改革推進会議」等へも要望しました。また、売店運営については、当財団の貴重な財源確保を図るために引き続き効率的な運営に努めました。

### 平成22年度神奈川県身体障害者連合会事業決算

No.	事業科目	決算額
1	会議費	305,525
2	負担金	165,840
3	雑費	26,726
4	地域団体組織強化費	90,335
5	広報活動費	1,160,525
6	身体障害者福祉推進活動費	104,045
7	部会活動費	1,170,000
8	日身連大会等参加費	348,360
9	相談事業費	35,870
10	体育振興費	132,548
11	福祉大会費	1,617,001
12	小規模作業所緊急移行支援事業費	25,317,745
13	推進センター事業運営費	68,044,000
14	県障害者スポーツ大会開催費	2,235,000
15	県障害者スポーツ振興協議会事務委託費	3,700,000
16	全国障害者スポーツ大会相模原市選手団派遣費	7,000,000
17	宿泊施設好事例調査事業費	1,548,210
18	予備費	0
	合計	113,001,760

### 就任あいさつ



事務局長  
 いししい まさすみ  
 石井 正純

この四月に事務局長に就任いたしました石井です。

初めに、三月十一日に発生した東日本大震災で被災された皆様にお見舞い申し上げます。被災した県市の障害者団体からは、「未だに安否確認ができない。」などの悲痛な声が寄せられています。一日も早い復興を願っています。

さて、就任してからこれまで様々な行事に参加させていただ

きました。特に、スポーツ大会での選手・支援者の歓喜ハツラツな姿が印象的です。私も地域でソフトボールチームに所属しますが、勝てば嬉しくて明日の糧に、負ければ悔しいが明日のバネにしようと思っております。

ところで、最近の障害者に関する大きな課題として障がい者制度改革があり、また、財団を取り巻く課題として公益財団法人への移行があります。

事務局長として、こうした点でもお役にたてるよう、努力いたします。どうぞよろしくお願ひします。

地域団体の紹介

南足柄市身体障害者福祉協会

会長 加藤 弘美

かとう ひろみ

私たち南足柄市身体障害者福祉協会(南障協)は市制施行と共にスタートし、今年で四十周年を迎えました。先日五月十一日には戸井田県身連会長にはるばるおいで頂き、他にも市長をはじめ大勢の来賓の方々をお招きして、記念総会を盛大に開催しました。この時、長年、会のために尽力された団体や個人に感謝状や表彰状が飯嶋泰会長より贈られ、これを節目として飯嶋会長は退任されました。実は昨年の夏の終わりごろからこの退任の話があり、私たちは本当に戸惑いました。加えて他の地区でも問題となつている会員の高齢化と減少です。会の存続さえ危ぶまれましたが、これからはこの会を続けていくためにはどうしたらよいか?と役員会で何度も話し合いを重ね、事業や会員のあり方を見直し、会の運営についても、役員全員で分担し協力し



て進めていくことを決めました。それでも会長だけはなかなか決まらず、ついに一期二年私が務めてみようかと決断。手足が不自由な上に言語障害もあり車椅子生活を余儀なくされている私ですが、新しくなった役員体制のもと、会長・副会長・会計の三役の連携を密にして、役員全員で助け合つてなんとか果たしたいと思ひます。事務局にはとても心強い社協の石川さんもいられます。お世話になります。どうぞよろしく願ひします。私が会長を務めることで「会長は特別な人がやる大変な仕事」というイメージを少しでも払拭できればと思つています。

大井町身体障害者福祉協会

会長 飯島 嘉平

いじま かへい

大井町身体障害者福祉協会は、昭和四十三年四月に設立されました。現在会員数は、年々減少が続き寂しいの一言です。

若い会員の入会を心待ちにしています。私の近所にも身障者と思われる方も見かけますが、個人情報問題もあり言葉をかける事も出来ません。また、県とか郡町の行事交流会等に参加する会員も少ないです。高齢化



のせいですか、体調不良の方も多いです。



活動としては、県の富士登山、郡のボウリング大会、パークゴルフ大会、二市八町車椅子ダンス、県のスポーツ大会、県身障者福祉大会等に参加させていただいて、交流を行つて居ります。大井町の見どころをご紹介します。

まず、大井町里山の丘富士見塚ハイキングコース。里山から見る足柄平野、その向かって西の方に富士山が良く見えます。いつか来て見て下さい。



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

### 山北町身体障害者福祉協会

会長 宮里 妙子  
みやざと たえこ

当会は昭和二十七年、戦争で身体に障害を負ってしまった人々を慰めるために、行政が創設したもので、来年六十年を迎えます。

三十年ほど前にはおよそ三〇〇人の会員がいらしたそうですが、皆様の会と同様、高齢化と法の壁に阻まれ、現在は一〇〇人ほどとなりました。それに加え、山北町は面積が広く人々は山間部に点在していて交通手段もなく、実際に行事などに参加して下さる方は、役員を含め三十人足らずです。行事としては、

- お花見&歩行訓練会(自)
- 総会および慰安激励大会(自)
- 車いすダンス交流会(西部)
- ボウリング大会(郡)
- スポーツ大会(県)

- 福祉ふれあいフェスタ(町)
- フライングディスク大会(自)
- バスでの社会見学研修会(自)
- 福祉大会(県)

- ふれあい体育祭(郡)
  - 料理教室(自)
  - 役員一泊研修会(自)
- などがあります。

明るい未来はなかなか見えませんが、頼もしい役員の方々に支えられ、会員増加を計りながら、行事に参加して下さる方が一人でも居られる限り、存続させたいと願っています。

### お知らせ

各市町村の身体障害者団体では、会員を募集しております。それぞれの団体で特色ある活動をしておりますので、興味のある方は入会してみたいかがですか？

連絡先等の詳細については、  
県身連事務局までお問合せください。

TEL 〇四五三二一八七三六  
FAX 〇四五三二六八八六〇

### 相模原市身体障害者連合会

会長 小出 庄作  
こいで しよさく

相模原市身体障害者連合会は、昭和三十年四月に「肢体・聴覚・視力・車いす」の四協会が設立、以来連合会の活動が、半世紀を越え、相模原市の人口の増加により平成二十二年四月に県下三番目の政令指定都市に生まれ変わり、市内を三区「南区・中央区・緑区」に区割りされました。身体障害者手帳所持者が一万人千人を超えています。

さて連合会の活動を紹介しましょう。

- 四月に定期総会
- 月例役員会
- 四月にふれあいフェスティバル開催「市の桜まつりに合わせて相身連主催で、あじさい会館ホールで歌・おどり・コーラスなど披露。市民も楽しみで毎年会場は満席」
- 十月に相身連、作品展を開催「各協会から絵画・書道・彫金・手芸・写真・生け花・川柳・短歌等、四百点くらい出品。あじ

さい会館で二日間行われます。開催中、市長さん始め市民の方々多数来館」

○一月に相身連賀詞交歓会「市民会館で来賓の方々との年の初めを祝います」

○障害者スポーツ講座・ふれあい文化講座「けやき体育館で一年間を通して講座に参加」

◆スポーツ講座(卓球・フライングディスク・水泳・吹き矢・体操等)

◆ふれあい文化講座(料理・お菓子「洋・和」・手芸・絵手紙・コーラス等)

○各協会が特色のある活動を展開「研修会・懇親会・社会見学(一泊・日帰り)・歩行訓練」

○県身連事業に積極的に参加  
会員相互の親睦を図り、福祉の向上を目指し、相身連事業活動を各協会と協力してやっていきます。



近況報告

第五十六回日本身体障害者福祉大会

「とやま大会」

去る五月二十七日、『復興みんな仲間 思いは「ひとつ」』をテーマに、第五十六回日本身体障害者福祉大会が、富山県で開催されました。県身連からも戸井田会長ほか二名が参加しました。

【大会宣言】

全国から障害者の参加を仰ぎ、ここ富山県において、第五十六回日本身体障害者福祉大会を開催することができた。

三月十一日の東日本大震災による甚大な被害により、数多くの被災障害者が、今も、避難所や自宅で不安を抱えるなか、避難生活を余儀なくされている。日身連は、被災障害者が、生活支援、移動や同行支援、情報保障等といった面で弾力的かつ適切な措置が講じられることを求めるものである。さらに、被害を被っている被災地の障害者団体が、一日も早く復興し、地域

日身連会長表彰

おめでとう！

小貫裕子様 (清川村)

去る五月二十七日に開催された第五十六回日本身体障害者福祉大会において、表彰式が行われました。心からお祝い申し上げます。

の障害者の日常生活や社会参加促進のための万全な活動が行えるよう、財政的支援を含めた公的な支援が講じられるよう強く要望する。

また、一方で、障がい者制度改革推進会議での「第一次意見」（閣議決定版）並びに「第二次意見」、そして総合福祉部会や差別禁止部会での検討を踏まえ、その意思が最大限尊重された「障害者基本法の改正」、「障害者総合福祉法」（仮称）、そして「障害を理由とする差別の禁止法」（仮称）でなくてはならず、これら法整備が担保された上で、「障害者権利条約」が批准されるべきである。

日本身体障害者連合会は、障害当時者団体としての務めとして、私たち障害者が障害を理由

に不利益を受けないよう、国をはじめ関係機関に強く訴えていく。そして、障害のある人もない人もともに支え合い、同じ社会の一員として社会貢献に努めるなかで、障害者一人ひとりの尊厳が尊重され、安心した地域生活を実現するために、全国の加盟団体並びに会員との強い連携のもと、一致団結し行動することを誓い、ここに宣言する。

大会決議

- 一. 災害時における障害要援護者名簿の確保を期せ
- 一. 被災障害者の障害の特性に即した適切な支援と救済を図れ
- 一. 被災地の身障団体再建のため強力な支援を図れ
- 一. 障害者権利条約批准による国内法制度の整備を促進せよ

第五回神奈川県障害者スポーツ大会終わる

障害者スポーツ大会終わる

第五回神奈川県障害者スポーツ大会は、四月のポウリング・アーチェリー競技会を皮切りに、陸上、卓球、フライングディスク、水泳競技会を行いました。五月の身体障害者陸上競技会にて、総合開会式が行われ、県知事をはじめ、多くのご来賓の方々にご出席いただきました。

全国障害者スポーツ大会神奈川県派遣選手及び相模原市派遣選手この大会も、参加者一六〇〇余名と盛大な大会となりました。大会運営にご協力いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



さんぽみち

開成阿波踊りは今年で二十四回目。初めの頃は、ずぶの素人の町民が阿波踊りの祭りを既に開催していた神奈川県内の大和市へ出かけて習いに行き、また高円寺や本場の徳島へみんなまで出かけて踊り方を教わったり、にわか連に飛び入りで踊ったりしながら身に付けていきました。

今年も九月十日土曜日の夜、開成町役場付近の路上の踊り会場で開催されます。昨年は自治会などの町内連を中心に、東京・高円寺や神奈川県・東林間からの招待連も招いて、二十三の踊り連、踊り手約千人が参加してにぎやかに開催されていきました。

道幅の広い県道に設けられたメイン会場では、踊りや鳴り物の技を競う阿波踊りコンテストが行われており、気合の入ったパフォーマンスを両側に設けられた観客席で



楽しむことができます。

また、開成町役場前の踊り会場には福祉席も設けられ、町民センター内に車椅子用のトイレがありますので、車椅子の方やお年寄りの方も安心して見られますので、ぜひご利用ください。

現在、東日本大震災の関係で高まったお祭り等の自粛ムードが全国的に収まりつつありますので、開催の方向で検討をしているようです。正式に開催内容が決まり次第、開成町公式ホームページに最新の情報が提供されると思いますので、どうぞ楽しみにお待ちください。ぜひとも阿波踊りを見に開成町にお越しください。

開成町 遠藤 伸一

みんなの広場

“防災に心がけよう”

このたび東北・東日本の大震災に被災されました皆様方に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。今回は趣をかえて私ごと(地震)で筆を走らせて頂きます。

私は平成二十年八月、十階建ての高層住宅に引っ越しました。知人友人から「何階に越したのですか?」と尋ねられ、「十階に越しました」と答える。誰もが「そう、見晴らしがよくていいですねえ」と言葉返しにくれる。いわく見晴らしや景色は一度見れば毎日同じようなものです。ただ四季折々に変えてくれる色彩りが楽しいと言えばそうかも知れませんがねえ。しかし、その裏には大変なことも沢山あるのです。

春一番のときはホコリが舞い上がりベランダ一面を土ホコリにしてしまう、夏はご存じの通り台風です。まともに受けてしまえば扉を開けることさえかなわない。まして今回のような大地震には、立っていることさえ許されなかつた。

この世に生を受けて七十数年になるが、今回のような地震に遭遇したのは初めてのことである。

三月十一日午後二時四十六分、私は市役所に出かけるので準備をし

ている時のことでした。私は思わず柱にすがりつき、倒れかけたテレビや棚から落ちる品々を何一つ支えることもできませんでした。棚に載せてあるものはほとんどが落下し、冷蔵庫の扉は開き、中の玉子や品々は飛び出し、サイドボードも扉が開き飾り瓶が落ち、その上にグラス等が重なるように落ちた、その時のすさまじい割れ音は今でも耳に残っている。更には洗面器に整髪料の瓶が落ち、洗面器が割れてしまう等々散々な思いを強いられた。また身体も同じである。寝返りを打つ、座りなおす、自分で身体を動かしているのに身体には震度のような伝わり方をする。またゆれた、また地震か?未だに治らぬ地震後遺症である。

東海、東南海地震は必ず起きると報じられています。

会員の皆さん、高層住宅に引越す際は、くれぐれも最上階は避けた方がよろしいかと?

経験者として一言申し上げて筆を止めさせていただきます。

相模原市 橋本 一男

県身連事業予定

<7月>

- 3日(日) 県障害者スポーツ大会[FD]  
(県立体育センター)
- 10日(日) 県障害者スポーツ大会[水泳]  
(さがみはらグリーンプール)
- 14日(木) 身体障害者富士登山  
(富士山5~7合目)
- 31日(日) 県障害者スポーツ教室[水泳]  
(県総合リハビリテーションセンター)

<8月>

- 5日(金) 関東ブロック相談員研修会  
(川崎市)
- 7日(日) 障害児者スポーツ指導講習会  
(県立体育センター)
- 20日(土) 障害児者スポーツ指導講習会  
(県立体育センター)
- 21日(日) 障害児者スポーツ指導講習会  
(県立体育センター)

<9月>

- 4日(日) 視覚障害者福祉機器展、団体長会議  
(座間市総合福祉センター)
- 6日(火) 肢体協会女性部野外活動  
( )
- 10日(土) 県障害者スポーツ教室[スポーツ吹矢]  
(西湘地区体育センター)
- 13日(火) 肢体協会女性部野外活動  
( )
- 13日(火) 全国盲女性研修大会  
(福井県)
- ~15日(木) 全国盲青年研修大会  
(宮城県)
- 17日(土) 全国盲青年研修大会  
(宮城県)
- ~19日(月) 障害者歩行訓練会  
(花菜ガーデン：平塚市)

<10月>

- 1日(土) 関東ブロック合同友愛の集い  
(千葉県)
- ~2日(日) 第56回県福祉大会  
(伊勢原市民文化会館)
- 9日(日) 第11回全国障害者スポーツ大会  
(山口県)

※問い合わせ 電話：045-311-8736  
045-311-8744  
[推進センター]  
FAX：045-316-6860  
[http://www32.ocn.ne.jp/~kanagawa\\_sinsho](http://www32.ocn.ne.jp/~kanagawa_sinsho)

編集委員

緑川きみ子(湯河原町)

三月十一日午後二時四十六分、  
貴方は何をしていましたか？あ  
の巨大地震から数カ月の時が経  
ち、復興途中の被災地の方々の  
ご心痛、本当の痛みは当事者に  
しか分からないだろうと思いま  
す。癒える事の無い心の傷は、  
記憶として我々一人一人の脳裏  
に焼き付けておく事、またそれ  
等すべては、多くの方達が身を  
もって教えて下さった教訓とし  
て語り継ぎ、犠牲になられた方  
々の死を無駄にする事無く、ご  
冥福を祈りつつ日々を暮らした  
いものです。  
さて、いよいよ真夏の気配。  
道路の表面から蜃気楼の様な暑  
気が立ち上り、あまり身長が高  
くない私は、地表の熱にやられ  
そうな日々が続きそうです。皆  
さんも御体大切に！

【俳句】  
空に浮く色濃く踊り花火かな  
日威風と風に腰掛須々木の子  
須々木原 月も出てけり環の景色  
鎌倉市 粕山三輪子  
大和市 佐藤 幸子



【川柳】  
責任は必ず人の手を借りる  
鎌倉市 粕山三輪子  
あの夜の責任とて四十年  
藤沢市 有川 俊夫  
ほらあれと夫婦二人で言葉です

【短歌】  
若返り母に微笑みて虹の橋を  
子等が備えし青木花持ち  
手の震え琴弾く爪もままならず  
母の墓前に老いを悲しむ  
鎌倉市 粕山三輪子  
揉み療治杖に継りて来る患者  
老いる姿は何時か我身に



編集室から

三月十一日午後二時四十六分、  
貴方は何をしていましたか？あ  
の巨大地震から数カ月の時が経  
ち、復興途中の被災地の方々の  
ご心痛、本当の痛みは当事者に  
しか分からないだろうと思いま  
す。癒える事の無い心の傷は、  
記憶として我々一人一人の脳裏  
に焼き付けておく事、またそれ  
等すべては、多くの方達が身を  
もって教えて下さった教訓とし  
て語り継ぎ、犠牲になられた方  
々の死を無駄にする事無く、ご  
冥福を祈りつつ日々を暮らした  
いものです。  
さて、いよいよ真夏の気配。  
道路の表面から蜃気楼の様な暑  
気が立ち上り、あまり身長が高  
くない私は、地表の熱にやられ  
そうな日々が続きそうです。皆  
さんも御体大切に！

俳句・川柳・短歌